

令和 4 年 9 月 29 日
気象庁地震火山部

配信資料に関する技術情報第 599 号

～「推定噴煙流向報」の提供開始について～

概要

気象庁では、噴火発生時に「噴火に関する火山観測報」を公表し、噴煙の状況等の噴火に関する情報の提供を行っています。

今般、噴火に関する新たな情報として、噴火発生時の噴煙の実況値に加え、噴煙の流向を推定する上で有益な上空の風の状況を速やかにお知らせする「推定噴煙流向報」の提供を開始します。

新たに提供する推定噴煙流向報の仕様等を以下のとおりお示しします。なお、この情報の概要等については、別添資料 1 をご覧ください。

1 運用開始時期

令和 5 年 3 月（予定）

※新電文の配信開始前に試験配信を実施する予定です。

※配信開始や試験配信の具体的な日時は、決まり次第、「配信資料に関するお知らせ」によりお知らせします。

2 情報名、内容、発表条件等

情報名：推定噴煙流向報

情報内容：噴煙の観測情報、高度別の風向・風速

発表条件：「噴火速報」又は「噴火に関する火山観測報」を公表した場合に速やかに発表（ただし、連続噴火の停止を報じる場合を除く）

3 電文フォーマット、サンプル電文

電文ヘッダー：VFV060

発信官署：RJTD

電文のフォーマット（XML 形式）については別添資料 2 をご参照ください。また、サンプル電文等の XML 技術資料については、気象庁防災情報 XML フォーマット情報提供ページに掲載しておりますので、そちらをご覧ください。

(<http://xml.kishou.go.jp/index.html>)

4 その他

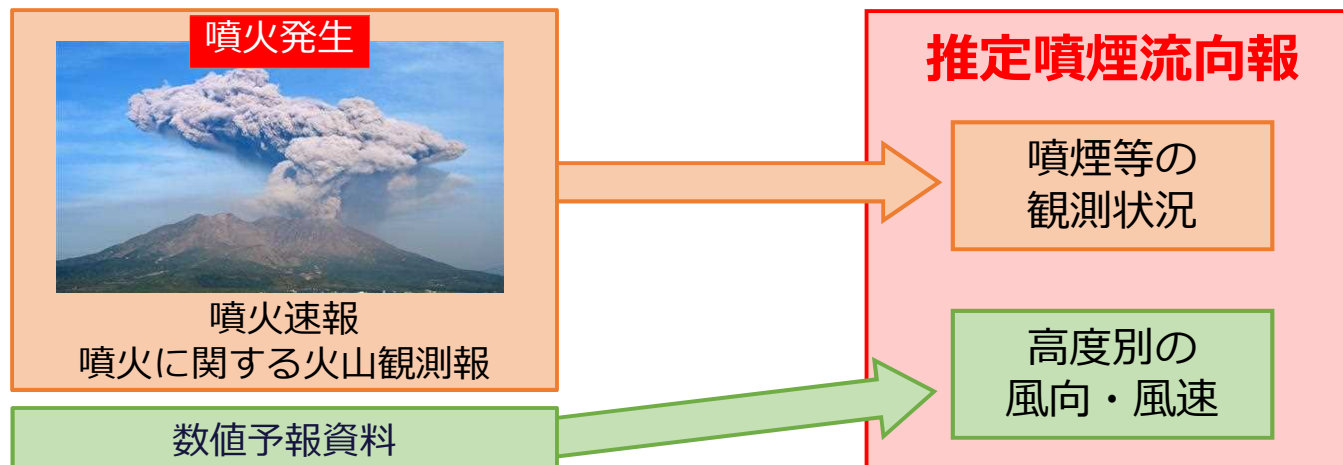
現在、桜島及び霧島山に対してのみ、「噴火に関する火山観測報」を発表する際に、その付加文の中で上空の風の状況を提供しています。この風の状況の提供については「推定噴煙流向報」の運用開始後、一定の期間を経て終了する予定です。「噴火に関する火山観測報」による上空の風の情報提供終了の具体的な日時については、決まり次第、「配信資料に関するお知らせ」により別途お知らせします。

推定噴煙流向報の概要①

別添資料1

噴火発生時の噴煙状況等をお知らせしている「噴火に関する火山観測報」に加え、新たな情報として、噴火時の噴煙の実況値のほか噴煙の流向を推定する上で有益な上空の風の状況を速やかにお知らせする「**推定噴煙流向報**」の提供を開始します。

対象火山	国内の活火山
内容	◆ 火山情報（火山名、緯度経度、標高） ◆ 噴火情報（噴火時刻、噴煙高度、噴煙流向の実況） ◆ 高層風情報（地表からFL450まで1000フィート毎の風向・風速）
配信形式	気象庁防災情報XML形式（VFVO60） ※詳細については次々頁以降にお示しします
情報発表タイミング	「噴火速報」及び「噴火に関する火山観測報※」発表後、数分程度以内 ※ 「連続噴火停止」を報じるものを除く
運用開始時期	令和5年3月（予定）



推定噴煙流向報の概要②

現在の運用

噴火が発生した際には、「噴火に関する火山観測報」により、①噴煙の観測状況、②噴火に伴う火山活動の状況を提供しています。これらの情報に加え、桜島、霧島山については、③代表的な高度ごとの風の情報を提供しています。

今後の運用

桜島、霧島山のみで提供している、③代表的な高度ごとの風の情報について、**国内の活火山を対象に「推定噴煙流向報」として、③'さらに細分化した高度ごとの風の情報を提供**します。

現在

「噴火に関する火山観測報」

- ①噴煙の観測状況
- ②噴火に伴う火山活動の状況
- ③代表的な高度ごとの風の情報(桜島、霧島山のみ)

③について、国内の活火山を対象に、風の情報を細分化して提供

①、②については引き続き「噴火に関する火山観測報」で提供

将来

「噴火に関する火山観測報」

- ①噴煙の観測状況
- ②噴火に伴う火山活動の状況

「推定噴煙流向報」

- ①噴煙の観測状況
- ③'より細分化した高度ごとの風の情報

- ※ 桜島、霧島山の「噴火に関する火山観測報」では、将来的に③の提供を終了します。
- ※ その他の火山では、「噴火に関する火山観測報」の内容については、変更はありません。

推定噴煙流向報 (VFVO60) の電文の構造①

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<Report xmlns="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/" xmlns:jmx="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/">
  <Control>
    <Title>推定噴煙流向報</Title>
    <DateTime>2021-05-27T04:08:00Z</DateTime>
    <Status>通常</Status>
    <EditorialOffice>気象庁本庁</EditorialOffice>
    <PublishingOffice>気象庁</PublishingOffice>
  </Control>
  <Head xmlns="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/informationBasis1/">
    <Title>桜島 推定噴煙流向報</Title>
    <ReportDateTime>2021-05-27T13:08:00+09:00</ReportDateTime>
    <TargetDateTime>2021-05-27T13:01:00+09:00</TargetDateTime>
    <TargetDTDubious>頃</TargetDTDubious>
    <EventID>20210527130800_506</EventID>
    <InfoType>発表</InfoType>
    <Serial>1</Serial>
    <InfoKind>推定噴煙流向報</InfoKind>
    <InfoKindVersion>1.3_0</InfoKindVersion>
    <Headline>
      <Text></Text>
      <Information type="推定噴煙流向報">
        <Item>
          <Kind>
            <Name>爆発</Name>
            <Code>51</Code>
          </Kind>
          <Areas codeType="火山名">
            <Area>
              <Name>桜島</Name>
              <Code>506</Code>
            </Area>
          </Areas>
        </Item>
      </Information>
    </Headline>
  </Head>
```

Control部

Head部

情報名や発表日時等の基礎情報

見出し

次頁へ

推定噴煙流向報(VFVO60)の電文の構造②

Body部

```
<Body xmlns="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/body/volcanology1/" xmlns:jmx_eb="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/elementBasis1/">
```

```
<VolcanoInfo type="推定噴煙流向報">
```

```
<Item>
```

```
<EventTime>
```

```
<EventDateTime significant="yyyy-mm-ddThh:mm">2021-05-27T13:01:00+09:00</EventDateTime>
```

```
<EventDateTimeUTC significant="yyyy-mm-ddThh:mm">2021-05-27T04:01:00Z</EventDateTimeUTC>
```

```
</EventTime>
```

```
<Kind>
```

```
<Name>爆発</Name>
```

```
<Code>51</Code>
```

```
</Kind>
```

```
<Areas codeType="火山名">
```

```
<Area>
```

```
<Name>桜島</Name>
```

```
<Code>506</Code>
```

```
<Coordinate description="北緯31度35.55分 東経130度39.40分 標高1117m">+3135.55+13039.40+1117</Coordinate>
```

```
<CraterName>南岳山頂火口</CraterName>
```

```
<CraterCoordinate description="北緯31度34.63分 東経130度39.53分 標高1060m">+3134.63+13039.53+1060</CraterCoordinate>
```

```
</Area>
```

```
</Areas>
```

```
</Item>
```

```
</VolcanoInfo>
```

```
<VolcanoObservation>
```

```
<ColorPlume>
```

```
<jmx_eb:PlumeHeightAboveCrater type="火口上噴煙高度" unit="m" description="火口上1800m">1800</jmx_eb:PlumeHeightAboveCrater>
```

```
<jmx_eb:PlumeHeightAboveSeaLevel type="海拔噴煙高度" unit="FT" description="海拔9400FT">9400</jmx_eb:PlumeHeightAboveSeaLevel>
```

```
<jmx_eb:PlumeDirection type="噴煙の流向" unit="漢字" description="南東">南東</jmx_eb:PlumeDirection>
```

```
</ColorPlume>
```

噴火に関する情報

噴煙の観測状況

次頁へ

推定噴煙流向報 (VFVO60) の電文の構造③

Body部

```
<WindAboveCrater>
  <jmx_eb:DateTime significant="yyyy-mm-ddThh:mm">2021-05-27T13:00:00+09:00</jmx_eb:DateTime>
  <WindAboveCraterElements description="SFC 030/17">
    <jmx_eb:WindHeightAboveSeaLevel type="海拔高度" unit="FT" description="海拔0FT">0</jmx_eb:WindHeightAboveSeaLevel>
    <jmx_eb:WindDegree type="風向" unit="度(真方位)" description="30">30</jmx_eb:WindDegree>
    <jmx_eb:WindSpeed type="風速" unit="ノット" description="17ノット">17</jmx_eb:WindSpeed>
  </WindAboveCraterElements>
  <WindAboveCraterElements description="FL010 030/18">
    ~中略~ (海拔1000FTから44000FTの火口直上の風の要素を1000FTごとに記載)
  </WindAboveCraterElements>
  <WindAboveCraterElements description="FL450 050/18">
    <jmx_eb:WindHeightAboveSeaLevel type="海拔高度" unit="FT" description="海拔45000FT">45000</jmx_eb:WindHeightAboveSeaLevel>
    <jmx_eb:WindDegree type="風向" unit="度(真方位)" description="50">50</jmx_eb:WindDegree>
    <jmx_eb:WindSpeed type="風速" unit="ノット" description="18ノット">18</jmx_eb:WindSpeed>
  </WindAboveCraterElements>
</WindAboveCrater>
<OtherObservation></OtherObservation>
</VolcanoObservation>
<Text></Text>
</Body>
</Report>
```

火口直上の風の予想時刻

火口直上の風の情報

火口直上の風の要素

```
<WindAboveCraterElements description="SFC 030/17">
  <jmx_eb:WindHeightAboveSeaLevel type="海拔高度" unit="FT" description="海拔0FT">0</jmx_eb:WindHeightAboveSeaLevel>
  <jmx_eb:WindDegree type="風向" unit="度(真方位)" description="30">30</jmx_eb:WindDegree>
  <jmx_eb:WindSpeed type="風速" unit="ノット" description="17ノット">17</jmx_eb:WindSpeed>
</WindAboveCraterElements>
```

火口直上の風の海拔高度

火口直上の風の風向

火口直上の風の風速

※ 地表から45,000FTまで1,000FTごとに記載する。

※ 現在も提供している代表的な高度 (5000、10000、18000FT) の場合、「WindAboveCraterElements」要素に@heightPropertyとして、「代表高度」と記載する。

地震火山関連 XML 電文解説資料

【推定噴煙流向報のみ抜粋】

令和4年9月
気象庁地震火山部

はじめに

この「地震火山関連 XML 電文解説資料」（以下「本解説資料」という。）は、平成 27 年 8 月に運用を開始した噴火速報の情報文を含んだ地震火山関連の気象庁防災情報 XML フォーマット（以下「気象庁 XML」という。）による電文について、実際の地震火山関連の警報や情報等の運用に即して詳細に説明したものである。

なお、平成 29 年 11 月から運用を開始した南海トラフ地震に関連する情報の移行措置用電文については、本解説資料の最後に別冊として添付した「南海トラフ地震に関連する情報関連移行措置用 XML 電文解説資料」において説明する。

気象庁 XML については、既に、「気象庁防災情報 XML フォーマット」仕様（令和 4 年 9 月現在、平成 28 年 3 月 31 日付 ver1.2 が最新版）や「気象庁防災情報 XML フォーマット運用指針」（令和 4 年 9 月現在、平成 25 年 4 月 12 日付 ver1.3 が最新版）等において、その基本的な仕様や運用も含め公開しているところである。このため、本解説資料は、それら既存公開資料との重複記載は極力せず、詳細な事項や地震火山関連電文に特化した事項について記載しており、上記既存公開資料と合わせて本解説資料を読むことで全体像を把握していただくという利用を想定している。

今後の地震火山関連の警報・情報等の運用の変更がある場合等に、本解説資料の内容が変わる可能性がある。

本解説資料では、表記短縮のため、基本的に、各要素（element）を示す場合には当該要素の名称だけを用い（例えば、Status 要素については「Status」、Control/EditorialOffice 要素については「Control/EditorialOffice」のように表記する）、属性（attribute）を示す場合には属性の名称の前に「@」を付けたものを用いることとしている（例えば、type 属性については「@type」、Areas 要素の codeType 属性については「Areas/@codeType」のように表記する）。また、本解説資料で用いる用語については、以下に示すもののほか、気象庁 XML に関連する各種資料で用いられる用語の例に依る。

用語

津波に関連する情報

津波警報・注意報・予報、津波情報、沖合の津波観測に関する情報をまとめてこのように呼ぶ。

地震・津波に関連する情報

津波に関連する情報、緊急地震速報（警報）、緊急地震速報（地震動予報）、緊急地震速報（予報）、緊急地震速報の配信テスト電文、震度速報、震源に関する情報、震源・震度に関する情報、地震の活動状況等に関する情報、地震回数に関する情報、顕著な地震の震源要素更新のお知らせ、長周期地震動に関する観測情報をまとめてこのように呼ぶ。

南海トラフ地震に関連する情報

南海トラフ地震臨時情報、南海トラフ地震関連解説情報をまとめてこのように呼ぶ。

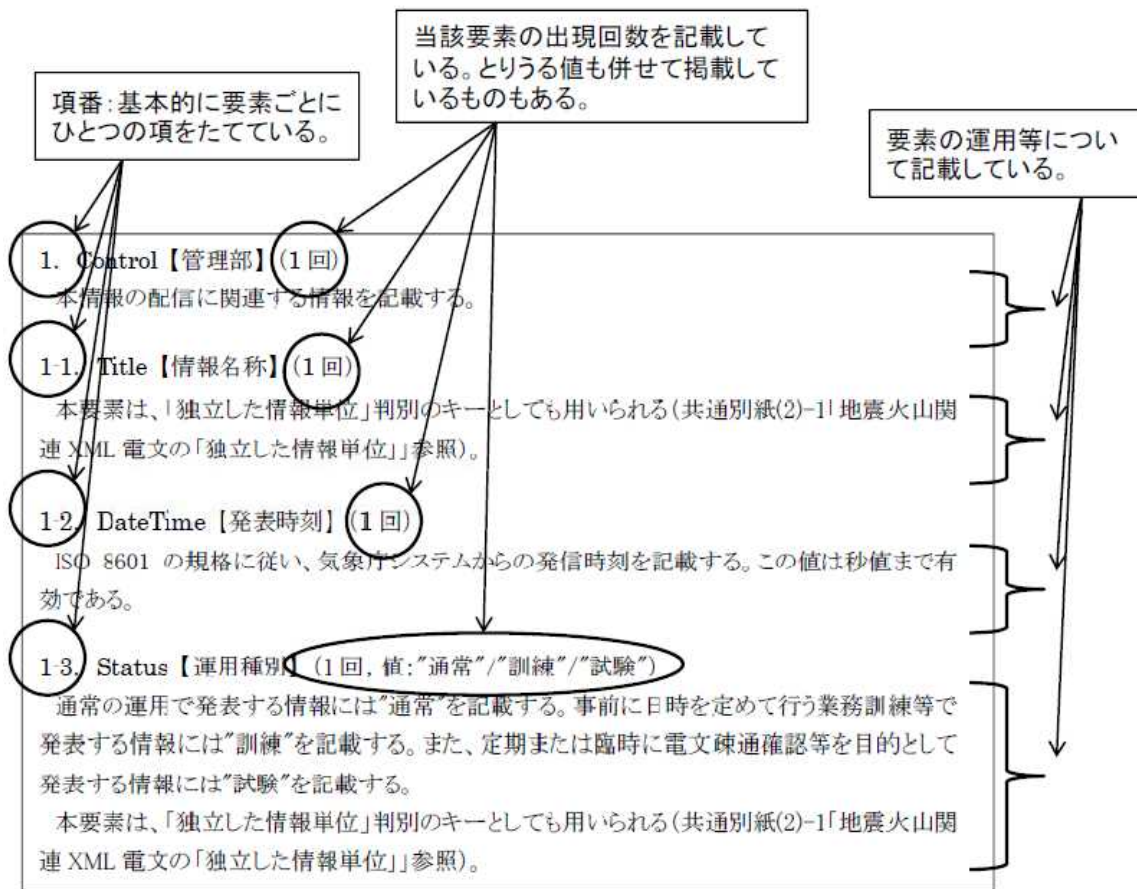
火山に関連する情報

噴火警報・予報、火山の状況に関する解説情報、噴火に関する火山観測報、火山現象に関する海上警報・海上予報、降灰予報、噴火速報、推定噴煙流向報をまとめてこのように呼ぶ。

目次

	ページ番号
I. 共通	I-1
(i) 管理部	
(ii) ヘッダ部	
(iii) 共通別紙	
ア. 地震火山関連 XML 電文の「独立した情報単位」の運用	I.別 01-1
イ. 地震・津波に関連する情報における EventID 要素の運用	I.別 02-1
ウ. 地震火山関連 XML の取消電文の運用	I.別 03-1
エ. 南海トラフ地震に関連する情報における EventID 要素及び Serial 要素の運用	I.別 04-1
II. 内容部	
(i) 地震・津波	
ア. 津波警報等	
(ア) 津波警報・注意報・予報	II. 11-1
(イ) 津波情報	II. 12-1
(ウ) 沖合の津波観測に関する情報	II. 13-1
イ. 緊急地震速報	
(ア) 緊急地震速報(警報)、緊急地震速報(地震動予報)、 緊急地震速報(予報)、リアルタイム震度電文	II. 21-1
(イ) 緊急地震速報の配信テスト電文	II. 22-1
ウ. 地震情報等	
(ア) 震度速報	II. 31-1
(イ) 地震情報(震源に関する情報)	II. 32-1
(ウ) 地震情報(震源・震度に関する情報)	II. 33-1
(エ) 地震情報(地震の活動状況等に関する情報)	II. 34-1
(オ) 地震情報(地震回数に関する情報)	II. 35-1
(カ) 地震情報(顕著な地震の震源要素更新のお知らせ)	II. 36-1
(キ) 長周期地震動に関する観測情報	II. 37-1
エ. 南海トラフ地震に関連する情報	II. 41-1
オ. 地震・津波に関するお知らせ	II. 51-1
(ii) 火山	
ア. 噴火警報・予報、火山の状況に関する解説情報、 火山現象に関する海上警報・海上予報	II. 61-1
イ. 噴火に関する火山観測報	II. 62-1
ウ. 火山に関するお知らせ	II. 63-1
エ. 降灰予報	II. 64-1
オ. 噴火速報	II. 65-1
カ. 推定噴煙流向報	II. 66-1

本解説資料の様式



I. 共通

I. (i) 管理部

(省略)

I. (ii) ヘッダ部

Head【ヘッダ部】(1回)

本情報の見出しを記載する。

1. Title【標題】(1回)

情報の標題を記載する。

震源・震度に関する情報において、近地地震の場合には“震源・震度情報”、遠地地震の場合には“遠地地震に関する情報”と記載する。

津波警報・注意報・予報については、発表する情報に含まれる津波予報等の種類の総和表現を記載する。なお、津波警報・注意報を全解除し、全ての津波予報区等で津波予報(若干の海面変動)又は津波なしとなる場合は、事例に示すとおり“津波予報”と記載する。

各地の満潮時刻と津波到達予想時刻を発表する津波情報については“各地の満潮時刻・津波到達予想時刻に関する情報”を、津波の観測値を発表する津波情報については“津波観測に関する情報”を記載する。両者をひとつの津波情報電文で発表する場合は、本要素の中に二つの標題を半角スペースで区切って併記する。

南海トラフ地震に関連する情報においては、情報名称(Control/Title)が“南海トラフ地震臨時情報”の場合は、“南海トラフ地震臨時情報”に続けて情報種別番号名(Body/EarthquakeInfo/InfoSerial/Name)の内容を付記する(例:“南海トラフ地震臨時情報(巨大地震警戒)”)。また、情報名称(Control/Title)が“南海トラフ地震関連解説情報”の場合は、“南海トラフ地震関連解説情報”と標記し、情報番号(Head/Serial)に値が記載されている場合に限り、一連の情報番号を付記する(例:“南海トラフ地震関連解説情報(第〇号)”)。

火山に関連する情報においては、火山名と情報の種別を記載する。

事例1(津波注意報と津波予報を発表する場合)

<Title>津波注意報・津波予報</Title>

事例2(津波注意報を全解除し、津波予報(若干の海面変動)が残る場合)

<Title>津波予報</Title>

事例3(津波注意報を全解除し、全ての津波予報区で津波なしとなる場合)

```
<Title>津波予報</Title>
```

事例4(大津波警報、津波警報、津波注意報、津波予報を発表する場合)

```
<Title>大津波警報・津波警報・津波注意報・津波予報</Title>
```

2. ReportDateTime【発表時刻】(1回)

発表官署が本情報を発表した時刻を記載する。

緊急地震速報(警報)、緊急地震速報(地震動予報)、緊急地震速報(予報)、及び緊急地震速報の配信テスト電文については秒値まで、その他の地震・津波・南海トラフ地震・火山に関連する情報については、分値まで有効である。

3. TargetDateTime【基点時刻】(1回)

情報の内容が発現・発効する基点時刻を記載する。

震度速報については最初に地震波を自動検知した観測点における地震波の検知時刻を、地震情報(顕著な地震の震源要素更新のお知らせ)については震源要素を切り替えた時刻を、津波の観測値を発表する津波情報、沖合の津波観測に関する情報については津波の観測状況を確定した時刻を記載する。火山現象に関する海上警報については火山活動の観測時刻、噴火に関する火山観測報、噴火速報、推定噴煙流向報については報じる現象の発現時刻、降灰予報については情報の対象となる時間帯の基点時刻を記載する。その他の地震・津波・火山に関連する情報については、ヘッダ部の発表時刻(Head/ReportDateTime)の値を記載する。

なお、緊急地震速報(警報)、緊急地震速報(地震動予報)、緊急地震速報(予報)、及び緊急地震速報の配信テスト電文については秒値まで、その他の地震・津波・南海トラフ地震・火山に関連する情報については、分値まで有効である。ただし、噴火に関する火山観測報、噴火速報、推定噴煙流向報については、基本的に分値まで有効であるが、TargetDTDubious が出現する場合は、それで示すあいまいさに応じた単位までが有効、発現時刻が不明の場合には xsi:nil="true" 属性値により空要素となる。

事例(噴火に関する火山観測報において、本要素が空要素として出現する場合)

```
<TargetDateTime xsi:nil="true" />
```

4. TargetDTDubious【基点時刻のあいまいさ】

(0回/1回, 値:“頃”/“年頃”/“月頃”/“日頃”/“時頃”/“分頃”/“秒頃”)

噴火に関する火山観測報、噴火速報、推定噴煙流向報で用いる場合があり、報じる現象の発現時刻にあいまいさがある場合に記載する。

例えば“日頃”のときは年月日までが有効となる。具体的な精度の有効な範囲は、内容部の EventDateTime 及び EventDateTimeUTC の@significant に記載する。

5. ValidDateTime【失効時刻】(0 回/1 回)

津波警報・注意報・予報の電文及び降灰予報の電文において情報の失効時刻を記載する。

津波警報・注意報・予報の電文については、津波予報(若干の海面変動)のみ発表の場合や、津波警報・注意報解除後に津波予報(若干の海面変動)のみが残る場合に、その失効時刻を記載する。

降灰予報については、それぞれの情報における失効時刻を記載し、降灰予報(定時)は基点時刻から 18 時間後、降灰予報(速報)は基点時刻から 1 時間後、降灰予報(詳細)は基点時刻から概ね 6 時間後となる。

6. EventID【識別情報】(1 回)

地震・津波に関連する情報については、ある特定の地震を識別するための地震識別番号(14 桁の数字)を記載する。津波に関連する情報では、当該警報等に寄与している地震の地震識別番号を記載するため、1つの電文に複数の地震識別番号が出現する場合もある。詳細については、(iii)共通別紙イ。「地震・津波に関連する情報の EventID 要素の運用」を参照。

南海トラフ地震に関連する情報については、任意の識別番号(14 桁の数字)を記載する。詳細については、(iii)共通別紙エ。「南海トラフ地震に関連する情報における EventID 要素及び Serial 要素の運用」を参照。

火山に関連する情報については、3桁の火山番号を記載する。ただし、噴火に関する火山観測報及び噴火速報、推定噴煙流向報については、ReportDateTime と火山番号を“_”で連結して記載する。

地震・津波に関するお知らせや火山に関するお知らせについては、情報発表日時分(14 桁の数字)を記載する。

7. InfoType【情報形態】(1 回)

情報を発表する場合は“発表”を、「独立した情報単位」において直前の時点で発表されている Control/DateTime の最も新しい電文を訂正する場合は“訂正”を、「独立した情報単位」全体を取り消す場合は“取消”を記載する。取消電文の運用については、(iii)共通別紙ウ。「取消電文の運用」を参照。

8. Serial【情報番号】(1 回)

続報を発表し、内容を更新する情報については、情報番号を記載する。続報を発表する度に情報番号を更新するが、取消報の場合は、番号は更新しない。訂正報の場合は訂正する直近の情報の情報番号を記載する。

南海トラフ地震に関連する情報については、続報を発表する情報で情報番号を記載する。詳細については、(iii)共通別紙エ.「南海トラフ地震に関連する情報における EventID 要素及び Serial 要素の運用」を参照。

※なお、同一種別の情報における最新情報の検索にあたっては、本要素ではなく管理部の発表時刻(Control/DateTime)を参照すること。

9. InfoKind【スキーマの運用種別情報】(1 回)

10. InfoKindVersion【スキーマの運用種別情報のバージョン番号】(1 回)

11. Headline【見出し要素】(1 回)

子要素に Text 及び Information をもつ。

11-1. Text【見出し文】(1 回)

見出し文を自由文形式で記載する。

11-2. Information【見出し防災気象情報事項】(0 回以上)

地震火山関連 XML 電文では、情報によって本要素の運用が異なる。このため、以下のとおり個別に解説する。

津波に関連する情報については、11-2(1)にて解説する。

緊急地震速報については、11-2(2)にて解説する。

地震情報等については、11-2(3)にて解説する。

南海トラフ地震に関連する情報では、本要素は出現しない。

地震・津波に関するお知らせでは、本要素は出現しない。

火山に関連する情報については、11-2(4)にて解説する。

火山に関するお知らせでは、本要素は出現しない。

なお、情報形態(Head/InfoType)が“取消”の場合、情報名称に関わらず本要素は出現しない((iii)共通別紙ウ.「取消電文の運用」を参照)。

津波に関連する情報における Head/Headline/Information の解説

(省略)

緊急地震速報における Head/Headline/Information の解説

(省略)

地震情報等における Head/Headline/Information の解説

(省略)

火山に関連する情報における Head/Headline/Information の解説

11-2(4). Information【見出し防災気象情報事項】(0 回以上)

噴火警報・予報及び火山現象に関する海上警報においては、@type が“噴火警報・予報(対象火山)”、“噴火警報・予報(対象市町村等)”(海上警報では“噴火警報・予報(対象海上予報区)”)及び“噴火警報・予報(対象市町村の防災対応等)”である本要素が各々1回ずつ出現する。

火山の状況に関する解説情報においては、@type が“火山の状況に関する解説情報(対象火山)”である本要素が1回出現する。

噴火に関する火山観測報においては、@type が“噴火に関する火山観測報”である本要素が1回出現する。

降灰予報においては、@type が“降灰予報(対象火山)”、“降灰予報(対象市町村等)”である本要素が各々1回ずつ出現する。

噴火速報においては、@type が“噴火速報”である本要素が1回出現する。

推定噴煙流向報においては、@type が“推定噴煙流向報”である本要素が1回出現する。

情報形態(Head/InfoType)が“取消”の場合は、いずれの情報においても、本要素は出現しない。

11-2(4)-1. Item【個々の防災気象情報要素】(1 回以上)

Information/@type=“火山の状況に関する解説情報(対象火山)”、“噴火警報・予報(対象市町村等)”、“降灰予報(対象市町村等)”、“火山現象に関する海上警報・海上予報(対象海上予報区)”又は“噴火警報・予報(対象市町村の防災対応等)”の場合は本要素が1回以上出現するが、Information がそれ以外の属性値をとる場合は1回だけ出現する。

子要素として、Kind、LastKind 及び Areas をもつ(Information/@type=“噴火に関する火山観測報”、“降灰予報(対象火山)”、又は“降灰予報(対象市町村等)”、“噴火速報”、“推定噴煙流向報”である場合は、LastKind は出現しない)。

11-2(4)-1-1. Kind【防災気象情報要素】(1 回)

子要素に Name、Code 及び Condition をもつ。Information/@type=“噴火に関する火山観測報”、“降灰予報(対象火山)”、又は“降灰予報(対象市町村等)”、“噴火速報”、“推定噴煙

流向報”である場合は、Condition は出現しない。

11-2(4)-1-1-1. Name【防災気象情報要素名】(1 回)

Information/@type の値に応じて本要素の内容を記載する。

Information/@type の値が“噴火警報・予報(対象火山)”又は“火山の状況に関する解説情報(対象火山)”の場合は、噴火警戒レベル導入火山は噴火警戒レベルを、レベル未導入火山と海底火山は警戒事項等(キーワード)を記載する。

Information/@type の値が“噴火に関する火山観測報”、“噴火速報”、“推定噴煙流向報”の場合は、発生した現象を記載する。

Information/@type の値が“降灰予報(対象火山)”の場合は、情報種別(「降灰予報(定時)」、「降灰予報(速報)」、「降灰予報(詳細)」のいずれか)を記載する。

Information/@type の値が“噴火警報・予報(対象市町村等)”又は“火山現象に関する海上警報・海上予報(対象海上予報区)”の場合、噴火警報・予報又は海上警報・海上予報の種類を記載する。

Information/@type の値が“降灰予報(対象市町村等)”の場合は、関連する防災気象情報要素名(「降灰」、「多量の降灰」、「やや多量の降灰」、「少量の降灰」、「小さな噴石の落下」のいずれか)を記載する。

Information/@type の値が“噴火警報・予報(対象市町村の防災対応等)”の場合、警戒事項等(警報の種類及び具体的な防災対応)を記載する。防災気象情報要素コード(Code)の 41～43 に対応する噴火警戒レベル導入火山用の名称(Name、“噴火警報:避難等”、“噴火警報:入山規制等”、“火口周辺警報:入山規制等”)については、噴火警戒レベル導入火山で一斉に開始するのではなく、準備の整った火山から平成 25 年度末より順次運用を開始しているところ。なお、将来的には、上記の Information/@type の値が“噴火警報・予報(対象市町村等)”を廃止する予定。

11-2(4)-1-1-2. Code【防災気象情報要素コード】(1 回)

上記 Name の内容に対応するコード(“警報等情報要素/噴火警報・予報等”)を記載する。

11-2(4)-1-1-3. Condition【状況】(0 回/1 回)

前回発表からの変化を記載する。

Information/@type の値が“噴火警報・予報(対象火山)”又は“火山の状況に関する解説情報(対象火山)”である場合のとりうる値は“引上げ”、“継続”、“引下げ”である。

Information/@type の値が“噴火警報・予報(対象市町村等)”又は“火山現象に関する海上警報・海上予報(対象海上予報区)”である場合のとりうる値は下表のとおりである。

Information/@type の値が“噴火に関する火山観測報”、“降灰予報(対象火山)”、又は“降灰予報(対象市町村等)”、“噴火速報”、“推定噴煙流向報”である場合は、本要素は出現

しない。

“発表”	噴火予報から火口周辺警報、 噴火予報から噴火警報、 火口周辺警報から噴火警報、又は 噴火警報から火口周辺警報 に変更したとき
“切替”	火口周辺警報発表中の火口周辺警報発表、 噴火予報発表中の噴火予報発表 など、同種の噴火警報・予報の発表のとき
“解除”	噴火警報から噴火予報、又は 火口周辺警報から噴火予報 に変更したとき

Information/@type の値が“噴火警報・予報(対象市町村の防災対応等)”である場合のとりうる値は下表のとおりである。

“発表”	“活火山であることに留意”から“噴火警報:避難等”、 “活火山であることに留意”から“噴火警報:入山規制等”、 “活火山であることに留意”から“火口周辺警報:入山規制等”、 “活火山であることに留意”から“噴火警報(周辺海域):周辺海域警戒”、 “活火山であることに留意”から“噴火警報:当該居住地域嚴重警戒”、 “活火山であることに留意”から“噴火警報:当該山麓嚴重警戒”、 “活火山であることに留意”から“噴火警報:火口周辺警戒”、又は “活火山であることに留意”から“火口周辺警報:火口周辺警戒” に変更したとき
“引上げ”	“噴火警報:入山規制等”から“噴火警報:避難等”、 “火口周辺警報:入山規制等”から“噴火警報:避難等”、 “噴火警報:火口周辺警戒”から“噴火警報:当該居住地域嚴重警戒”、 “噴火警報:火口周辺警戒”から“噴火警報:当該山麓嚴重警戒” “火口周辺警報:火口周辺警戒”から“噴火警報:当該居住地域嚴重警戒”、 又は “火口周辺警報:火口周辺警戒”から“噴火警報:当該山麓嚴重警戒” に変更したとき
“切替”	“火口周辺警報:入山規制等”から“噴火警報:入山規制等”、 “噴火警報:入山規制等”から“火口周辺警報:入山規制等”、 “火口周辺警報:火口周辺警戒”から“噴火警報:火口周辺警戒”、又は “噴火警報:火口周辺警戒”から“火口周辺警報:火口周辺警戒”

	に変更したとき
”継続“	警戒事項等に変更がないとき
“引下げ”	“噴火警報:避難等”から“噴火警報:入山規制等”、 “噴火警報:避難等”から“火口周辺警報:入山規制等”、 “噴火警報:当該居住地域厳重警戒”から“噴火警報:火口周辺警戒”、 “噴火警報:当該山麓厳重警戒”から“噴火警報:火口周辺警戒”、 “噴火警報:当該居住地域厳重警戒”から“火口周辺警報:火口周辺警戒”、 又は “噴火警報:当該山麓厳重警戒”から“火口周辺警報:火口周辺警戒” に変更したとき
“解除”	“噴火警報:避難等”から“活火山であることに留意”、 “噴火警報:入山規制等”から“活火山であることに留意”、 “火口周辺警報:入山規制等”から“活火山であることに留意”、 “噴火警報(周辺海域):周辺海域警戒”から“活火山であることに留意”、 “噴火警報:当該居住地域厳重警戒”から“活火山であることに留意”、 “噴火警報:当該山麓厳重警戒”から“活火山であることに留意”、 “噴火警報:火口周辺警戒”から“活火山であることに留意”、又は “火口周辺警報:火口周辺警戒”から“活火山であることに留意” に変更したとき

11-2(4)-1-2. LastKind【直前の防災気象情報要素】(0回/1回)

子要素に Name、Code 及び Condition をもつ。

Information/@type の値が“噴火に関する火山観測報”、“降灰予報(対象火山)”、又は“降灰予報(対象市町村等)”、“噴火速報”、“推定噴煙流向報”である場合は、本要素は出現しない。

11-2(4)-1-2-1. Name【防災気象情報要素名】(1回)

Kind と同様に、Information/@type の値に応じて本要素の内容を記載する。

11-2(4)-1-2-2. Code【防災気象情報要素コード】(1回)

上記 Name の内容に対応するコード(“警報等情報要素/噴火警報・予報等”)を記載する。

11-2(4)-1-2-3. Condition【状況】(1回)

本要素は常に空要素となる。

11-2(4)-1-3. Areas【対象地域・地点】(1回)

Kind の記載に応じた区域等を記載する。Information/@type の値に応じて、本要素の @codeType が設定される。すなわち、Information/@type=“噴火警報・予報(対象火山)”、“火山の状況に関する解説情報(対象火山)”、“噴火に関する火山観測報”、又は“降灰予報(対象火山)”、“噴火速報”、“推定噴煙流向報”の場合には@codeType=“火山名”、Information/@type=“噴火警報・予報(対象市町村等)”、“噴火警報・予報(対象市町村の防災対応等)”、又は“降灰予報(対象市町村等)”の場合には@codeType=“気象・地震・火山情報／市町村等”、Information/@type=“火山現象に関する海上警報・海上予報(対象海上予報区)”の場合には@codeType=“地方海上予報区”に設定される。子要素に Area をもつ。

11-2(4)-1-3-1. Area【対象地域・地点】(1 回以上)

子要素に Name と Code をもつ。

“降灰予報(対象市町村等)”の場合には、複数の防災気象情報要素(Kind)に対して、同じ対象地域(Area)が出現することがある。

11-2(4)-1-3-1-1. Name【対象地域・地点名称】(1 回)

Areas/@codeType の値に応じて、発表対象の火山名、市町村等、又は地方海上予報区を記載する。

11-2(4)-1-3-1-2. Code【対象地域・地点コード】(1 回)

上記 Name の内容に対応するコードを記載する。参照するコードは Areas/@codeType に記載されている。

Information @type=“噴火警報・予報(対象火山)”の構造(@type=“火山の状況に関する解説情報(対象火山)”は Item が複数出現する場合があるが、構造は基本的には同じである)

```
Information @type="噴火警報・予報(対象火山)"
```

```
├─Item (1 回)
│   ├─Kind (1 回)
│   │   ├─Name (1 回)
│   │   ├─Code (1 回)
│   │   └─Condition (1 回)
│   └─LastKind (1 回)
│       ├─Name (1 回)
│       ├─Code (1 回)
│       └─Condition (1 回)
└─Areas @codeType="火山名" (1 回)
    └─Area (1 回以上)
```

```
└─Name (1回)
└─Code (1回)
```

Information @type="噴火に関する火山観測報"又は"降灰予報(対象火山)"、"噴火速報"、
"推定噴煙流向報"の構造

```
Information @type="噴火に関する火山観測報"
└─Item (1回)
  └─Kind (1回)
    └─Name (1回)
    └─Code (1回)
  └─Areas @codeType="火山名" (1回)
    └─Area (1回)
      └─Name (1回)
      └─Code (1回)
```

Information @type="噴火警報・予報(対象市町村等)"の構造(@type="火山現象に関する海上警報・海上予報(対象海上予報区)"及び@type="噴火警報・予報(対象市町村の防災対応等)"である場合も同じ構造となる)

```
Information @type="噴火警報・予報(対象市町村等)"
└─Item (1回以上)
  └─Kind (1回)
    └─Name (1回)
    └─Code (1回)
    └─Condition (1回)
  └─LastKind (1回)
    └─Name (1回)
    └─Code (1回)
    └─Condition (1回)
  └─Areas @codeType="気象・地震・火山情報/市町村等" (1回)
    └─Area (1回以上)
      └─Name (1回)
      └─Code (1回)
```

Information @type="降灰予報(対象市町村等)"の構造

```
Information @type="降灰予報(対象市町村等)"
└─Item (1回以上)
```

```

└─Kind (1 回)
  └─Name (1 回)
    └─Code (1 回)
└─Areas @codeType="気象・地震・火山情報／市町村等" (1 回)
  └─Area (1 回以上)
    └─Name (1 回)
      └─Code (1 回)

```

噴火警報・予報における Information の出現例

```

<Information type="噴火警報・予報 (対象火山) ">
  <Item>
    <Kind>
      <Name>レベル2 (火口周辺規制) </Name>
      <Code>12</Code>
      <Condition>引上げ</Condition>
    </Kind>
    <LastKind>
      <Name>レベル1 (活火山であることに留意) </Name>
      <Code>11</Code>
      <Condition />
    </LastKind>
    <Areas codeType="火山名">
      <Area>
        <Name>有珠山</Name>
        <Code>112</Code>
      </Area>
    </Areas>
  </Item>
</Information>
<Information type="噴火警報・予報 (対象市町村等) ">
  <Item>
    <Kind>
      <Name>火口周辺警報</Name>
      <Code>02</Code>
      <Condition>発表</Condition>
    </Kind>

```

```
<LastKind>
  <Name>噴火予報</Name>
  <Code>05</Code>
  <Condition />
</LastKind>
<Areas codeType="気象・地震・火山情報／市町村等">
  <Area>
    <Name>北海道伊達市</Name>
    <Code>0123300</Code>
  </Area>
  <Area>
    <Name>北海道洞爺湖町</Name>
    <Code>0158400</Code>
  </Area>
  <Area>
    <Name>北海道壮瞥町</Name>
    <Code>0157500</Code>
  </Area>
</Areas>
</Item>
</Information>
<Information type="噴火警報・予報（対象市町村の防災対応等）">
  <Item>
    <Kind>
      <Name>火口周辺警報：入山規制等</Name>
      <Code>43</Code>
      <Condition>発表</Condition>
    </Kind>
    <LastKind>
      <Name>活火山であることに留意</Name>
      <Code>45</Code>
      <Condition />
    </LastKind>
  <Areas codeType="気象・地震・火山情報／市町村等">
    <Area>
      <Name>北海道伊達市</Name>
```



```
<Code>0123300</Code>
</Area>
<Area>
  <Name>北海道洞爺湖町</Name>
  <Code>0158400</Code>
</Area>
<Area>
  <Name>北海道壮瞥町</Name>
  <Code>0157500</Code>
</Area>
</Areas>
</Item>
</Information>
```

火山の状況に関する解説情報における Information の出現例

```
<Information type="火山の状況に関する解説情報（対象火山）">
  <Item>
    <Kind>
      <Name>レベル3（入山規制）</Name>
      <Code>13</Code>
      <Condition>継続</Condition>
    </Kind>
    <LastKind>
      <Name>レベル3（入山規制）</Name>
      <Code>13</Code>
      <Condition />
    </LastKind>
    <Areas codeType="火山名">
      <Area>
        <Name>有珠山</Name>
        <Code>112</Code>
      </Area>
    </Areas>
  </Item>
</Information>
```

火山現象に関する海上警報・海上予報における Information の出現例

```
<Information type="噴火警報・予報（対象火山）">
  <Item>
    <Kind>
      <Name>周辺海域警戒</Name>
      <Code>36</Code>
      <Condition>引上げ</Condition>
    </Kind>
    <LastKind>
      <Name>活火山であることに留意（海底火山）</Name>
      <Code>35</Code>
      <Condition />
    </LastKind>
    <Areas codeType="火山名">
      <Area>
        <Name>桜島</Name>
        <Code>506</Code>
      </Area>
    </Areas>
  </Item>
</Information>
<Information type="火山現象に関する海上警報・海上予報（対象海上予報区）">
  <Item>
    <Kind>
      <Name>海上警報（噴火警報）</Name>
      <Code>31</Code>
      <Condition>発表</Condition>
    </Kind>
    <LastKind>
      <Name>海上予報（噴火予報）</Name>
      <Code>33</Code>
      <Condition />
    </LastKind>
    <Areas codeType="地方海上予報区">
      <Area>
        <Name>九州南方海上及び日向灘</Name>
      </Area>
    </Areas>
  </Item>
</Information>
```

```
<Code>5200</Code>
</Area>
</Areas>
</Item>
</Information>
```

噴火に関する火山観測報における Information の出現例

```
<Information type="噴火に関する火山観測報">
<Item>
<Kind>
<Name>噴火</Name>
<Code>52</Code>
</Kind>
<Areas codeType="火山名">
<Area>
<Name>桜島</Name>
<Code>506</Code>
</Area>
</Areas>
</Item>
</Information>
```

噴火警報における警報の種類に基づく対象市町村の記載例 (Information/@type="噴火警報・予報 (対象市町村等) "については省略)

```
<Information type="噴火警報・予報 (対象火山) ">
<Item>
<Kind>
<Name>レベル 5 (避難) </Name>
<Code>15</Code>
<Condition>引上げ</Condition>
</Kind>
<LastKind>
<Name>レベル 3 (入山規制) </Name>
<Code>13</Code>
<Condition />
```

```
</LastKind>
<Areas codeType="火山名">
  <Area>
    <Name>有珠山</Name>
    <Code>112</Code>
  </Area>
</Areas>
</Item>
</Information>
<Information type="噴火警報・予報（対象市町村等）">
  <Item>
    <Kind>
      <Name>噴火警報</Name>
      <Code>01</Code>
      <Condition>発表</Condition>
    </Kind>
    <LastKind>
      <Name>火口周辺警報</Name>
      <Code>02</Code>
      <Condition />
    </LastKind>
    <Areas codeType="気象・地震・火山情報／市町村等">
      <Area>
        <Name>北海道伊達市</Name>
        <Code>0123300</Code>
      </Area>
      <Area>
        <Name>北海道洞爺湖町</Name>
        <Code>0158400</Code>
      </Area>
    </Areas>
  </Item>
```

2. 対象市町村等

北海道伊達市、北海道洞爺湖町

噴火警報における警報事項等に基づく対象市町村の記載例(噴火警戒レベル導入火山、
Information/@type="噴火警報・予報(対象市町村等)"については省略)

```
<Information type="噴火警報・予報(対象火山)">
  <Item>
    <Kind>
      <Name>レベル5(避難)</Name>
      <Code>15</Code>
      <Condition>引上げ</Condition>
    </Kind>
    <LastKind>
      <Name>レベル3(入山規制)</Name>
      <Code>13</Code>
      <Condition />
    </LastKind>
    <Areas codeType="火山名">
      <Area>
        <Name>有珠山</Name>
        <Code>112</Code>
      </Area>
    </Areas>
  </Item>
</Information>
<Information type="噴火警報・予報(対象市町村の防災対応等)">
  <Item>
    <Kind>
      <Name>噴火警報:避難等</Name>
      <Code>41</Code>
      <Condition>引上げ</Condition>
    </Kind>
    <LastKind>
      <Name>火口周辺警報:入山規制等</Name>
      <Code>43</Code>
      <Condition />
    </LastKind>
    <Areas codeType="気象・地震・火山情報/市町村等">
```

```
<Area>
  <Name>北海道伊達市</Name>
  <Code>0123300</Code>
</Area>
</Areas>
</Item>
<Item>
  <Kind>
    <Name>噴火警報：入山規制等</Name>
    <Code>42</Code>
    <Condition>切替</Condition>
  </Kind>
  <LastKind>
    <Name>火口周辺警報：入山規制等</Name>
    <Code>43</Code>
    <Condition />
  </LastKind>
  <Areas codeType="気象・地震・火山情報／市町村等">
    <Area>
      <Name>北海道洞爺湖町</Name>
      <Code>0158400</Code>
    </Area>
  </Areas>
</Item>
<Item>
  <Kind>
    <Name>活火山であることに留意</Name>
    <Code>45</Code>
    <Condition>解除</Condition>
  </Kind>
  <LastKind>
    <Name>火口周辺警報：入山規制等</Name>
    <Code>43</Code>
    <Condition />
  </LastKind>
  <Areas codeType="気象・地震・火山情報／市町村等">
```

```
<Area>
  <Name>北海道壮瞥町</Name>
  <Code>0157500</Code>
</Area>
</Areas>
</Item>
</Information>
```

2. 対象市町村等

以下の市町村では、当該居住地域で避難などの嚴重な警戒をしてください。

北海道伊達市

以下の市町村では、火口周辺で入山規制などの警戒をしてください。

北海道洞爺湖町

以下の市町村では、入山規制などの特段の警戒が必要なくなりました。

北海道壮瞥町

噴火警報における警報事項等に基づく対象市町村の記載例(噴火警戒レベル未導入火山、Information/@type="噴火警報・予報(対象市町村等)"については省略)

```
<Information type="噴火警報・予報(対象火山)">
  <Item>
    <Kind>
      <Name>居住地域嚴重警戒</Name>
      <Code>25</Code>
      <Condition>引上げ</Condition>
    </Kind>
    <LastKind>
      <Name>入山危険</Name>
      <Code>23</Code>
      <Condition />
    </LastKind>
    <Areas codeType="火山名">
      <Area>
        <Name>倶多楽</Name>
        <Code>111</Code>
      </Area>
```

```
</Areas>
</Item>
</Information>
<Information type="噴火警報・予報（対象市町村の防災対応等）">
  <Item>
    <Kind>
      <Name>噴火警報：当該居住地域嚴重警戒</Name>
      <Code>46</Code>
      <Condition>引上げ</Condition>
    </Kind>
    <LastKind>
      <Name>火口周辺警報：火口周辺警戒</Name>
      <Code>49</Code>
      <Condition />
    </LastKind>
    <Areas codeType="気象・地震・火山情報／市町村等">
      <Area>
        <Name>北海道伊達市</Name>
        <Code>0123300</Code>
      </Area>
    </Areas>
  </Item>
  <Item>
    <Kind>
      <Name>噴火警報：火口周辺警戒</Name>
      <Code>48</Code>
      <Condition>切替</Condition>
    </Kind>
    <LastKind>
      <Name>火口周辺警報：火口周辺警戒</Name>
      <Code>49</Code>
      <Condition />
    </LastKind>
    <Areas codeType="気象・地震・火山情報／市町村等">
      <Area>
        <Name>北海道洞爺湖町</Name>
```



```
<Code>0158400</Code>
  </Area>
</Areas>
</Item>
<Item>
  <Kind>
    <Name>活火山であることに留意</Name>
    <Code>45</Code>
    <Condition>解除</Condition>
  </Kind>
  <LastKind>
    <Name>火口周辺警報：火口周辺警戒</Name>
    <Code>49</Code>
    <Condition />
  </LastKind>
  <Areas codeType="気象・地震・火山情報／市町村等">
    <Area>
      <Name>北海道壮瞥町</Name>
      <Code>0157500</Code>
    </Area>
  </Areas>
</Item>
</Information>
```

2. 対象市町村等

以下の市町村では、当該居住地域で厳重な警戒をしてください。

北海道伊達市

以下の市町村では、火口周辺で警戒をしてください。

北海道洞爺湖町

以下の市町村では、特段の警戒が必要なくなりました。

北海道壮瞥町

降灰予報における Information の出現例

```
<Information type="降灰予報（対象火山）">
  <Item>
```

```
<Kind>
  <Name>降灰予報（詳細） </Name>
  <Code>07</Code>
</Kind>
<Areas codeType="火山名">
  <Area>
    <Name>桜島</Name>
    <Code>506</Code>
  </Area>
</Areas>
</Item>
</Information>
<Information type="降灰予報（対象市町村等）">
  <Item>
    <Kind>
      <Name>多量の降灰</Name>
      <Code>73</Code>
    </Kind>
    <Areas codeType="気象・地震・火山情報／市町村等">
      <Area>
        <Name>鹿児島県鹿児島市</Name>
        <Code>4620100</Code>
      </Area>
    </Areas>
  </Item>
  <Item>
    <Kind>
      <Name>やや多量の降灰</Name>
      <Code>72</Code>
    </Kind>
    <Areas codeType="気象・地震・火山情報／市町村等">
      <Area>
        <Name>鹿児島県鹿児島市</Name>
        <Code>4620100</Code>
      </Area>
      <Area>
```

```
<Name>鹿児島県垂水市</Name>
<Code>4621400</Code>
</Area>
</Areas>
</Item>
<Item>
<Kind>
<Name>少量の降灰</Name>
<Code>71</Code>
</Kind>
<Areas codeType="気象・地震・火山情報／市町村等">
<Area>
<Name>鹿児島県鹿児島市</Name>
<Code>4620100</Code>
</Area>
<Area>
<Name>鹿児島県鹿屋市</Name>
<Code>4620300</Code>
</Area>
<Area>
<Name>鹿児島県垂水市</Name>
<Code>4621400</Code>
</Area>
</Areas>
</Item>
</Information>
```

桜島 降灰予報（詳細）
多量 : 鹿児島市
やや多量: 鹿児島市、垂水市
少量 : 鹿児島市、鹿屋市、垂水市

予測降灰量の最大階級*は、「鹿児島市」で“多量”、「垂水市」で“やや多量”、「鹿屋市」で“少量”となるが、例えば「鹿児島市」では、“やや多量”及び“少

量”の階級も包括しているため、対象地域のタグ<Areas>では、いずれの階級においても「鹿児島市」が出現することになる。

※ 降灰予報では、降灰量を“多量”、“やや多量”、“少量”の3階級で表現する

噴火速報における Information の出現例

```
<Information type="噴火速報">
  <Item>
    <Kind>
      <Name>噴火</Name>
      <Code>52</Code>
    </Kind>
    <Areas codeType="火山名">
      <Area>
        <Name>御嶽山</Name>
        <Code>312</Code>
      </Area>
    </Areas>
  </Item>
</Information>
```

推定噴煙流向報における Information の出現例

```
<Information type="推定噴煙流向報">
  <Item>
    <Kind>
      <Name>爆発</Name>
      <Code>51</Code>
    </Kind>
    <Areas codeType="火山名">
      <Area>
        <Name>桜島</Name>
        <Code>506</Code>
      </Area>
    </Areas>
  </Item>
```

</Information>

II. (ii)カ. 推定噴煙流向報

Body【内容部】(1 回)

本情報の内容を記載する。

1. Notice【電文に関するお知らせ】(0 回/1 回)

電文に関するお知らせ(訓練文であることなど)を自由文で記載する。

2. VolcanoInfo【防災気象情報事項】(0 回以上)

観測された現象及び火山に関する情報を記載する。@type は“推定噴煙流向報”となる。火口の位置、現象の発生時刻、海底火山用の「位置補助情報」等の情報を追加する場合がある。

2-1. Item【個々の防災気象情報要素】(1 回以上)

発生した現象を記載する。火口の位置、現象の発生時刻、海底火山用の「位置補助情報」等の情報を追加する場合がある。

2-1-1. EventTime【現象の時刻情報】(0 回/ 1 回)

2-1-1-1. EventDateTime【現象の発生時刻】(0 回/ 1 回)

現象の発生日時。現象の時刻の精度は@significant により示す。また時刻が不明確なことを、@dubious を“頃”として示す。

2-1-1-2. EventDateTimeUTC【現象の発生時刻(世界時)】(0 回/ 1 回)

現象の発生日時の世界時。現象の時刻の精度は@significant により示す。また時刻が不明確なことを、@dubious を“頃”として示す。

2-1-2. Kind【防災気象情報要素】(1 回)

2-1-2-1. Name【防災気象情報要素名】(1 回)

発生した現象を記載する。

2-1-2-2. Code【防災気象情報要素コード】(0 回/1 回)

上記 Name に対応するコードを記載する。対応関係については別途提供するコード表を参照。

2-1-3. Areas【対象地域・地点コード種別】(1 回)

@codeType は“火山名”。

2-1-3-1. Area【対象地域・地点】(1 回以上)

2-1-3-1-1. Name【対象地域・地点名称】(1 回)

火山名を記載する。

2-1-3-1-2. Code【対象地域・地点コード】(1 回)

上記 Name に対応するコードを記載する。対応関係については別途提供するコード表を参照。

2-1-3-1-3. Coordinate【対象火山の位置】(0 回/1 回)

対象火山の緯度経度標高を記載する。

2-1-3-1-4. AreaFromMark【位置補助情報】(0 回/1 回)

海底火山の場合にその位置の説明を記載する。

2-1-3-1-5. CraterName【対象火口名称】(0 回/1 回)

対象とする現象を火口別に発表する場合に、火口名を記載する。

2-1-3-1-6. CraterCoordinate【対象火口の位置】(0 回/1 回)

対象とする現象を火口別に発表する場合に、対象火口の緯度経度標高を記載する。

3. VolcanoObservation【火山現象の観測内容等】(0 回/1 回)

3-1. ColorPlume【有色噴煙】(0 回/1 回)

3-1-1. jmx_eb:PlumeHeightAboveCrater【有色噴煙の火口(縁)上高度】(1 回)

@type は“火口(縁)上噴煙高度”、@unit は“m”で、メートル単位の0以上の整数を記載。
@condition が、“噴煙なし”又は“不明”の場合、本要素は空要素となる。なお、海底火山においては@type を“海面上噴煙高度”とする。

3-1-2. jmx_eb:PlumeHeightAboveSeaLevel【有色噴煙の海拔高度】(0 回/1 回)

@type は“海拔噴煙高度”、@unit は“FT”で、フィート単位の0以上の整数を記載。
@condition が、“噴煙なし”又は“不明”の場合、本要素は空要素となる。

3-1-3. jmx_eb:PlumeDirection【有色噴煙の流向】(1 回)

8方位、“直上”、又は“流向不明”と記載する。@condition が“噴煙なし”の場合は、“噴煙なし”を記載する。

3-2. WindAboveCrater【火口直上の風】(0 回/1 回)

通常、高度 0FT から高度 45,000FT まで 1000 フィート刻みの子要素 WindAboveCraterElements を持つ。

3-2-1. jmx_eb:DateTime【火口直上の風要素の予測時刻】(1 回)

火口直上の風要素の予測時刻。現象の時刻の精度は@significant により示す。

3-2-2. WindAboveCraterElements【火口直上の風要素】(0 回以上)

@description には、子要素である jmx_eb:WindHeightAboveSeaLevel、jmx_eb:WindDegree、jmx_eb:WindSpeed の値に対応した文字列表現を記載する。子要素である jmx_eb:WindHeightAboveSeaLevel の値が、火山毎に決められた代表高度に一致する場合に、@heightProperty に“代表高度”を記載する。

3-2-2-1. jmx_eb:WindHeightAboveSeaLevel【火口直上の風(高度)】(1 回)

海拔高度をフィート単位で記載する。@type は“海拔高度”、@unit は“FT”とし、@description には文字列表現を記載する。

3-2-2-2. jmx_eb:WindDegree【火口直上の風(風向)】(1 回)

風向を真方位で記載する。@type は“風向”、@unit は“度(真方位)”とし、@description には文字列表現を記載する。

ただし、@condition が“不明”のとき、本要素は空要素となる。

3-2-2-3. jmx_eb:WindSpeed【火口直上の風(風速)】(1 回)

風速をノット単位で記載する。@type は“風速”、@unit は“ノット”とし、@description には文字列表現を記載する。

ただし、@condition が“不明”のとき、本要素は空要素となる。

3-3. OtherObservation【付加文】(0 回/1 回)

自由文で他の火山現象等を記載。

3-4. Appendix【補足】(0 回/1 回)

自由文で補足を記載。

4. Text【テキスト要素】(0回/1回)

自由文形式で追加的に情報を記載する必要がある場合等に、本要素を用いて記載する。